

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	国際学部
大項目	9 教育研究等環境
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント(TA)・リサーチ・アシスタント(RA)・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2010年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教育補佐を4名配置する。	1. 指標：教務補佐4名に対する採用率 評価基準：4名採用した…評価A、3名採用した…評価B、2名採用した…評価C、1名以下の採用…評価D		B	A	A	A
2. 文部科学省等の外部資金に10件以上申請する。	2. 指標：文部科学省等の外部資金の申請件数 評価基準：10件以上…評価A、9～8件…評価B、7～6件…評価C、5件以下…評価D		B	A	A	A

☆

2011年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 2013年度に3名の教務補佐が期間満了により退職し、新たに3名の教務補佐を採用した。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 現在、教務補佐を4名により図書資料室の運営を行っている。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 引き続き、図書資料室は教務補佐4名により運営する。2014年4月に国際学研究科が開設したため、今後は大学院生を教務補佐として採用して、教務補佐と連携して業務を行う。	☆
		その他	☆

目標2	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 教授会等により科学研究費等の申請について情報提供を行い、申請者の増加に取り組んだ。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 2014年度科学研究費等申請件数は、新規6件、継続6件、計12件であった。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も、教授会等を通じ、科学研究費等の申請について情報提供することにより、申請件数を増やし、研究活動を活性化させる。	☆
		その他	☆
備考			☆

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能なため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【国際学部】			単位	2010	2011	2012	2013	2014	備考
指標1	教学補佐、実験実習補佐・教務補佐、 授業補佐の採用数	教学補佐	人	0	0	0	0	2	
		実験実習 指導補佐・ 教務補佐	人	3	4	4	4	4	
		授業補佐	人	0	0	0	5	0	
指標2	専任教員の担当授業時間(平均)	教授	時間	11.6	11.2	12.1	12.7	12.7	45分をもって1時間に換算
		准教授	時間	8.0	8.2	8.6	9.4	10.6	
		講師	時間	18.2	17.0	17.0	20.0	17.0	
		助教	時間	—	—	—	—	—	